

# 学習活動の重点化等に資する年間指導計画参考資料

教育芸術社

## 音楽 [中学校第2学年]

以下の資料は、当社の教師用指導書ならびにホームページに提示している第2学年の年間指導計画作成資料（A案）に基づき、今後の学習活動の重点化等に関連して

1. 学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
2. 感染症対策の観点から指導順序の変更が考えられる教材・学習活動

について一覧にまとめたものです。




なお当該学年で取り扱う内容や歌唱共通教材については、指導順序を入れ替えてもなお実施が困難となった場合、次年度以降において取り上げたり、類似した題材と組み合わせて取り上げたりするなどの配慮が必要となりますので、ご留意願います。

年間指導計画例はこちらをご参照ください。 [https://data.kyogei.co.jp/data\\_room/nenkei/chu\\_keikaku28\\_2/h28\\_nenkei\\_2a.pdf](https://data.kyogei.co.jp/data_room/nenkei/chu_keikaku28_2/h28_nenkei_2a.pdf)

注) 表中【歌唱】【器楽】【創作】の教材において「音源」とあるのは、教育芸術社のホームページにある「自宅学習支援コンテンツ」中の「中学生の音楽2・3上」「中学生の器楽」に含まれる音源のことを指します。なお、音声や動画をインターネット経由で視聴できる環境にない家庭の生徒への配慮を併せてお願いいたします。

自宅学習支援コンテンツ



題材名	配当 時数	学校の授業以外の場において行うことが 考えられる教材・学習活動	左記の 配当時数	学校の 授業が 必要な時数	指導順序の変更が 考えられる教材・学習活動	左記の 配当時数
曲想を生かして、表現を 工夫しよう【歌唱】【器 楽】	4	<p>「夢の世界を」(p.4) 言葉の持つ語感や、歌詞にこめられた思いを感じ取りながら歌詞を音読する。 前半と後半の曲想の変化に注目して音源を聴く。</p> <p>RHYTHM GAME (p.7) 図を使ってリズムをつくり、拍に合わせて声に出す。</p>	1	3	<p>実際に声を出して行う歌唱活動 又は歌唱に関わる全ての学習活動 の指導順序を変更する。</p> <p>BINGO GAME (p.6) 学年末の復習として取り上げる。</p> <p>アルトリコーダー LESSON 2 (器 楽 p.10~13) リコーダーを用いる全ての学習 活動の指導順序を変更する。</p>	3
パートの役割を理解し、 曲想を生かして、表現を 工夫しよう【歌唱】【器 楽】	4	<p>「翼をください」(p.8) 音源を聴き、曲の構成を確認する。 p.10の「ここが分かればGrade Up!」に従って、  の各部分の、各パートの役割や旋律の感じ、強弱、伴奏の特徴を確認してワークシートに書く。</p> <p>My Voice! (p.11) 「が」や「ご」を鼻濁音と濁音で発音し、その違いを確かめる。</p> <p>「ラヴァーズ コンチェルト」(器楽 p.52) 音源を聴き、各パートの役割を確かめる。 p.53の「ここが分かればGrade Up!」に従って、各パートの役割を確認して□にパートの番号を書く。</p>	1	3	<p>実際に声を出して行う歌唱活動 又は歌唱に関わる全ての学習活動 の指導順序を変更する。</p> <p>リコーダーを用いる全ての学習 活動の指導順序を変更する。</p>	3

題材名	配当 時数	学校の授業以外の場において行うことが 考えられる教材・学習活動	左記の 配当時数	学校の 授業が 必要な時数	指導順序の変更が 考えられる教材・学習活動	左記の 配当時数
詩と音楽とのかかわりを理解して、表現を工夫しよう【歌唱】	2	<p>「夏の思い出」(p.12) 歌詞の表す情景を思い浮かべながら歌詞を音読する。 音源を聴いて、強弱の変化を感じ取りながら歌う。</p> <p>「夏の日の贈りもの」(p.14) 歌詞の表す情景を思い浮かべながら歌詞を音読する。 p.17の「ここが分かればGrade Up!」を読みながら音源を聴き、Step1の①②③に従って歌い、表現の工夫について考えたりする。</p>	1	1	実際に声を出して行う歌唱活動 又は歌唱に関わる全ての学習活動の指導順序を変更する。	1
曲の構成を理解して、曲想を味わおう【鑑賞】【創作】	4	<p>「交響曲第5番 ハ短調」(p.34) 曲の背景や作曲者について理解しながら教科書p.37を読む。 公衆送信などの音源を利用し、曲の構成を感じ取りながら聴く。</p>	1	3	<p>歌唱活動が制限される場合は、この題材を先に取り上げてよい。</p> <p>Let's Create! (p.30) グループ活動又は創作に関わる全ての学習活動の指導順序を変更する。</p>	3

題材名	配当 時数	学校の授業以外の場において行うことが 考えられる教材・学習活動	左記の 配当時数	学校の 授業が 必要な時数	指導順序の変更が 考えられる教材・学習活動	左記の 配当時数
響きの美しさを味わおう【鑑賞】【歌唱】【創作】	4	<p>「ア カペラの合唱曲」(p.18) 公衆送信などの音源を利用し、各曲の説明文を参考に してそれぞれの音色や響きの違いを感じ取りながら聴く。</p> <p>My Melody (p.28) 教科書の手順にしたがって和音に合う旋律をつくる。 つくった旋律を、リコーダーなどで演奏して気に入った 音の動きになっているかを確認する。</p>	2	2	<p>歌唱活動が制限される場合は、 この教材を先に取り上げてもよい。</p> <p>「Kum Ba Yah」(p.19) 実際に声を出して行う歌唱活動 又は歌唱に関わる全ての学習活動 の指導順序を変更する。 つくった旋律について感想を 発表し合う学習活動の指導順序を 変更する。</p>	2
日本の歌やカンツォー ネのよさや美しさを味 わい、表現を工夫しよう 【歌唱】	4	<p>「荒城の月」(p.20) 歌詞の表す情景を思い浮かべながら歌詞を音読する。</p> <p>「サンタ ルチア」(p.24) 発声の特徴を捉えながら音源を聴く。 イタリア語の語感の特徴を感じ取りながら、音源に合 わせて歌ったりする。</p> <p>歌い継ごう 日本の歌 (p.56～59) 音源を聴き、歌詞と旋律との関わりに注目して、どのよ うに表現するかを考える。</p>	1	3	<p>実際に声を出して行う歌唱活動 又は歌唱に関わる全ての学習活動 の指導順序を変更する。</p>	3

題材名	配当 時数	学校の授業以外の場において行うことが 考えられる教材・学習活動	左記の 配当時数	学校の 授業が 必要な時数	指導順序の変更が 考えられる教材・学習活動	左記の 配当時数
オペラの特徴を理解し て、その魅力を味わおう 【鑑賞】	3	『『アイダ』から』(p.38) 曲の背景を理解しながら「楽曲について」を読む。 オペラについて理解しながら「オペラについて」「オペラ の上演に関わる主な人たち」を読む。 公衆送信などによる音源を利用し、各曲の曲想や演奏形 態の特徴を感じ取る。	1	2	歌唱活動が制限される場合は、 この題材を先に取り上げててもよ い。	2
歌舞伎の特徴を理解し て、その魅力を味わおう 【鑑賞】【歌唱】	3	『『勸進帳』から』(p.42) 歌舞伎について理解しながら、説明文を読む。 公衆送信などによる音源を利用し、「場面1」「場面2」「場 面3」のそれぞれの特徴を感じ取りながら聴く。 「長唄『勸進帳』から』(p.44) 音源を聴き、声の音色や節回しの特徴を感じ取りながら 一緒に唄う。	1	2	歌唱活動が制限される場合は、 この題材を先に取り上げててもよ い。  実際に声に出して行う歌唱活動 の指導順序を変更する。	2
日本の郷土芸能や伝統 音楽の特徴を理解して、 その魅力を味わおう【鑑 賞】【器楽】	4	「日本の郷土芸能／受け継ごう！郷土の芸能」(p.48) 日本各地にさまざまな郷土芸能があることを理解しなが ら教科書の説明文を読む。 公衆送信などの音源を利用し、それぞれの音楽の特徴を 感じ取りながら聴く。	1	3	歌唱活動が制限される場合は、 この教材を先に取り上げててもよ い。 「さくらさくら」(器楽 p.80) 箏を用いるすべての学習活動の 指導順序を変更する。 『『寄せの合方』によるリズムアン サンブル』(器楽 p.84) 実際に声を出して行う学習活動 の指導順序を変更する。	3

題材名	配当 時数	学校の授業以外の場において行うことが 考えられる教材・学習活動	左記の 配当時数	学校の 授業が 必要な時数	指導順序の変更が 考えられる教材・学習活動	左記の 配当時数
仲間とともに、表情豊かに合唱しよう【歌唱】	4	心通う合唱 (p.60～76) 音源を聴き、それぞれの曲想を感じ取る。  指揮をしてみよう！ (p.54) 「速度やタイミングをそろえるために必要なこと」の内容を読み、既習の曲などを用いて指揮の仕方を工夫する。	1	3	実際に声を出して行う歌唱活動 又は歌唱に関わる全ての学習活動の指導順序を変更する。	3